海外移住事業団の財務会計と経理の実際手続について

JICA
LIBRARY

海外移住事業団

目　　次

第1章　移住事業団の財務及び会計 ………… 1

Ⅰ．事業団の法概念 ………… 1

Ⅱ．事業団の資本 ………… 1

Ⅲ．事業団の業務 ………… 2

Ⅳ．事業団の資金 ………… 4

Ⅴ．事業団の会計経理 ………… 5

Ⅵ．旧勘定の設定 ………… 7

第2章　移住事業団の経理手続 ………… 8

Ⅰ．総　　説 ………… 8

Ⅱ．経理手続 ………… 8

1．証憑書について ………… 8

2．伝票について ………… 9

3．帳簿について ………… 10

4．勘定仕訳と記帳方法について ………… 11

Ⅲ．結　　語 ………… 66

国際協力事業団
受入月日 '84. 8. 20　000 234
登録No. 13263　EM

第1章　移住事業団の財務及び会計

Ⅰ．事業団の法概念

昭和38年7月から海外移住事業団法が施行され、7月14日に日本海外移住振興株式会社と日本海外協会連合会が解散して、7月15日から新らしい「海外移住事業団」が設立され、移住会社と海協連が行なっていた海外移住関係業務を承継して行うこととなった。

法律論からいえば、これは通常云われる会社等の新設合併と同じ性質のもので、先ず「海外移住事業団」の設立が前提となり、海協連は、その一切の権利及び義務を事業団に承継（法付則オ6条）し、移住会社は、事業団にその営業の全部を出資し、且つ、会社の一切の権利及び義務を事業団に承継（法付則オ7条）した上で両者とも解散するものであり、海協連及び移住会社が行なってきた業務も、資産、負債も、従って、色々な仕事や財産や諸契約等も一切移住事業団に引継がれるのである。

移住事業団は法人である（法オ2条）が、特別法に基づく公法人なので、民法の一般法人の規定や、商法の会社法の規定は適用しないが、限られた事項例えば法人の不法行為、能力、法人の住所については民法が準用される（法オ7条）等の例外がある。

Ⅱ．事業団の資本

移住事業団は，財団法人であった海協連や株式会社であった移住会社と趣を異にして、「移住者の援助及び指導その他海外移住

JICA LIBRARY
1023898[8]

の振興に必要な業務を」国に代って、或は国のために「国の内外を通じ一貫して効率的に行うことを目的とする」（法才１条）、いわゆる公的な移住実務機関である。そこで事業団の資本金は全額政府出資で賄われる。当初の資本金は昭和３８年度に新規に政府から出資された８億円と、従前政府が移住会社に出資していた額３２億２,５００万円との合計額、即ち４０億２,５００万円であり、今後必要と認められるときは、予算に定める金額の範囲内で政府から追加出資される（法才４条）。

移住会社には、７５００万円の民間出資があったので、これも事業団に引継ぐかどうか議論があったが、上記の趣旨もあり、この分は引継ぎに先立ち会社がこれを買取り消却し、民間資本が加わらない形で合体することとなった。

海協連には、元々資本金がないが、財団法人として所有している「資産の価格から負債の価額を控除した残額に相当する金額」が事業団の資本準備金として積立てられることとなった（法付則才６条才４項）。

Ⅲ．事業団の業務

事業団の業務の種類、範囲は、従前海協連及び移住会社が行なってきたものと殆んど同様であるが、若干の差があるので、法才２１条において、業務の範囲として掲げているところを大別すると次のとおりである。

(ア) 調査及び知識の普及業務 ── 即ち、移住関係の調査及び知識の普及等。

(イ) 援助及び指導業務 — 即ち、移住相談及びあっせん、移住者に対する訓練、講習、渡航費の貸付、支度金の支給、宿泊施設の提供及び引率その他援助指導等、並びに海外において、移住者の事業、職業、その他移住者の生活一般について相談に応じ指導すること及び定着のため教育、医療等の福祉施設の整備その他の援助等。

(ウ) 入植地業務 — 即ち、移住者の入植のための土地取得、造成管理、分譲ならびに土地取得のあっせん等。

(エ) 融資業務 — 即ち、移住者及びその団体（例えば農協等）に対する資金の貸付、債務の保証ならびに移住者を受入れる海外の事業に対する資金の貸付け等。

上記のうち（ア）（イ）は、大体海協連が行なってきた業務であり、(ウ)(エ)は、移住会社が行なってきた業務であるが、(エ)の融資業務については、従前は投資もやれることとなっていたが、事業団ではこの業務は削られ、新たに債務の保証業務が追加された。

ただし、事業団としては海外での実情に応じ、直接事業を営むこと（例えばチエテ牧場、サンタクルス及びエンカルナシオンの倉庫等の直営）或は特定の企業に投資をすること等の処置も必要となるので、そうした場合は、法オ21条オ1項オ11号及び同条オ2項の規定により、外務大臣の認可を受ければ実施できることになっている。なお、在伯のジャミック、イジュウシンコウの2法人に対する出資或は貸付も、こうした形式をとること自体についてのみ、この規定で読むものとされている。

Ⅳ、事業団の資金

事業団運営の所要資金は、その性質によって資金源も用途も二本に分れる。

(ア) 事業資金

事業団が直接行う移住分譲地の購入、造成及び融資に充当される資金は、政府の産投特別会計からの出資金を主とし、外部金融機関からの長短期借入金、債券の発行（法オ30条）、その他自己の回収資金等によって賄われ、すべて資産、負債、資本として計算処理される。

(イ) 経　費

事業団の通常経費、即ち人件費、旅費、事務費等は大部分政府の一般会計からの交付金によって賄われる（法オ31条）が、一部は事業団自身の収益金によって賄われ、すべて損費で計算処理される。しかし、交付金中の一部は、移住者収容所、学校、診療所等、いわゆる福祉施設の建設費及び一般の管理用資産購入費にも使用されるので、その分については、出資金によって賄われた場合と同様に、すべて資産に計上処理することとなっている。

上述の如く事業団は、政府からの出資金及び交付金を主な財源として運営されるので、その財務及び会計については、海協連、移住会社の時代に増して厳格な規制を受けることになる。例えば、事業団は、法オ24条及び省令オ6号の規定により、業務開始の際、業務方法書を作成し、外務大臣の認可を受ける外、毎事業年度外務大臣より業務の基本方針が示され（法オ23条）、これに

則って、法オ２７条の規定により、毎事業年度の事業計画、予算及び資金計画を作成し年度開始前に外務大臣の認可を受けることを要するとともに、法オ２８条オ１項の規定により、年度終了后４カ月以内（法オ２８条オ２項により、２カ月間の延長が認められる）に、当該年度の財務諸表を外務大臣に提出して認可を受けなければならない。なお、この財務諸表には、法オ２８条オ３項の規定により、当該年度の事業報告書、決算報告書並びに財務諸表及び決算報告書に関する監事の意見を添付しなければならない。

その他重要な財産の処分（法オ３４条）、役員、職員の給与及び退職手当の支給基準（法オ３５条）についても、すべて外務大臣の認可又は承認を受けなければならない。

Ⅴ．事業団の会計経理

海外移住事業団の会計経理に関しては、財源が交付金と出資金とによっている関係上、通常の官庁会計的な面と、企業会計的な面とが含まれているほか、次のような一般の事業団や公団と異った業務会計制度が規定されている（法オ２６条及び政令オ２５１号オ１条並びに省令オ７号オ２条）．先ず、事業団の勘定の中に固有の勘定として、次の三つの勘定が設けられ、それぞれ他の勘定と区分して経理される。

(ア) 渡航費貸付業務に係る勘定

これは従前海協連が取り扱っていた移住者に対し渡航費を貸付ける業務で、従前移住会社が取り扱っていた派米、派独の短期労務者に対する渡航費の貸付業務とは異なり、「移住者渡航

[illegible]貸付資金の貸付条件に関する法律」に基づく政府からの借入金によるものであって、事業団からみれば通り抜け勘定ともいうべきものなので、その元利の収支を他の業務勘定と区分して経理するものである。

(イ) 入植地業務に係る勘定

移住者に対し分譲する移住分譲地の販売価額の決定並びに入植地業務に関する資産、負債及び損益の状況を明らかにする必要に基づいて他の業務勘定と区分して経理するものである。

(ウ) 融資業務に係る勘定

融資業務は、事業団として極めて特異な性質を持つとともに、将来この部門の資金調達とか業務形態の変更とかの必要に応ずる趣旨に基づいて、この業務に関する資産、負債及び損益の状況を明らかにするため他の業務勘定と区分して経理するものである。

以上三つの特別勘定の外に、前の(ア)(イ)に述べた調査、啓発、あっせん及び国内、国外援助業務並びに事業団の全体を運営する管理部門、即ち一般業務に係る勘定がある訳だから事業団には、固有の勘定として最少限四つの業務勘定が存在することとなる。

さらに、事業団が新規に法第21条第1項第11号の業務（対現地法人出資、貸付を除く）を行う場合には、必要に応じて「特殊事業々務に係る勘定」が設けられて、他の業務と区分して経理することとなる。

Ⅵ. 旧勘定の設定

事業団には、上述した固有の特別勘定の外に、もう一つ過渡的にではあるが特別の勘定が設けられている。この勘定は、旧移住会社から承継された資産、負債、資本を他の業務勘定と区分して経理し、その損益の状況を明らかにするものであって、これを「旧勘定」といい、これに対し固有の諸勘定を「新勘定」と対称することになっている（法附則才９条及び政令才２５１号才１３条）。

本来ならば移住会社の資産、負債は、事業団への出資に先立って評価を行ない、若し確定欠損があれば減資又は欠損補填の措置がなされた上で承継さるべきであったが、時期的に欠損額を確定する暇なく、繰越欠損が存在するまま特例的に包括承継したため、出資時の資産、負債をそのまま旧勘定として経理し、その資産、負債、資本につき確定処理の見透しを得た後において新勘定の諸勘定に分類して併合する予定になっている。

従って、新勘定と旧勘定が併合されるまで、旧勘定の資産、負債の増減及びこれに係る損益の計算は、旧勘定自体で行われることになるが、ただ旧勘定関係業務を運営するための費用は、一部の直接費を除き、人件費、旅費、事務費等は原則として新勘定のうちの一般業務勘定によって賄われる。

なお、旧勘定関係業務の処理のために、資金を要した場合は、これを新勘定よりの借として経理し、逆に旧勘定の資産を新勘定において使用又は消費減耗したような場合は、その相当額を新勘定への貸として経理することとなっている（政令才２５１号才１３条才２項及び同条才３項）。

第２章　移住事業団の経理手続

Ⅰ．総　　説

事業団の業務には、新勘定として、渡航費貸付業務、入植地業務、融資業務の３部門と、管理部門の勘定を処理する一般業務及び旧移住会社より承継した業務を一括処理する旧勘定業務があることは既に前章において述べたとおりである。

これら５部門の業務に属するすべての取引について、その性質、目的にしたがい、業務科目及び計理科目に区分して経理し、会計記録しなければならない（会計規程オ５条）ので、この経理手続をどうすればよいかについて、項を追って述べる。

Ⅱ．経理手続

事業団の経理手続については、会計細則に詳細に定められているが、特に証憑書、伝票等の作成方法及び各業務元帳の記入方法等について、以下例をあげて説明することとする。

１．証憑書について

すべての取引は、必ず書類によらなければならない。書類は、取引の原始記録として元帳記入の唯一の基礎資料となるものであるから、会計のすべての計算証明はみなこの証憑書類にまでさかのぼることによって初めて正しいということができる。

このように、証憑書類は大切なものであるから、会計細則オ６章に定められている証憑書類の作成や取扱にあたっては、次の諸点について特に注意を要する。

(ア) 必ず正確な収納又は支払日付及び作成日付を記入すること（会計細則才27条）。

(イ) 関係職員の責任を明かにし、記録事務の既済を表わすため、取扱者は順次所定欄に認印を押捺し、上級責任者の承認をうけること（会計細則才27条）。

(ウ) 保存番号をつけて、一定の秩序に従い整理保存して、いつでも参照できるようにしておくこと（会計細則才28条）。

2、伝票について

証憑書類により直接元帳に記入する簡易な方法を採る場合もあるが、多数の勘定口座を設けて記録整理を要するような場合、諸取引をいきなり直接に勘定口座に記入したのでは、記入洩れや、重複記入や、又は勘定口座を誤って記入したりする危険がある。その上万一間違って記入した場合は、その誤りを検出することが非常に難しい。

したがって、事業団の会計経理手続においては、すべての収支は、一定の証憑書類を基礎として取引の要領を記載した伝票によって処理することとした（会計規程才6条）。

なお、この伝票を作成するにあたっては、その取引の性質、目的により、業務科目及び計理科目を用いて仕訳整理しなければならない（会計細則才1条）。

勘定科目の仕訳に際しては、次の諸点について特に注意を要する。

(ア) 取引を貸借二面に分解して、取引の内容をよく見究めること。

(イ) どの勘定科目に影響があるかを確かめること。

(ウ) 取引金額はいくらか。そして収納か、支払かを確かめること。

(エ) 添付される証憑書の適否をよく見究めること。

3、帳簿について

(ア) 勘定元帳

資産、負債、資本および損益をこまかく分けて勘定科目とし、勘定という計算単位毎に取引を記入する場所を勘定口座といい、この勘定口座を収容している帳簿を勘定元帳という。

この勘定元帳の勘定口座毎に取引の内容を記録することによって、資産、負債及び資本の増減と、損失や利益の発生の全体のありさまを知ることが出来るのである。また、この勘定元帳の記録をもとにして、貸借対照表や損益計算書が作成されるのである。

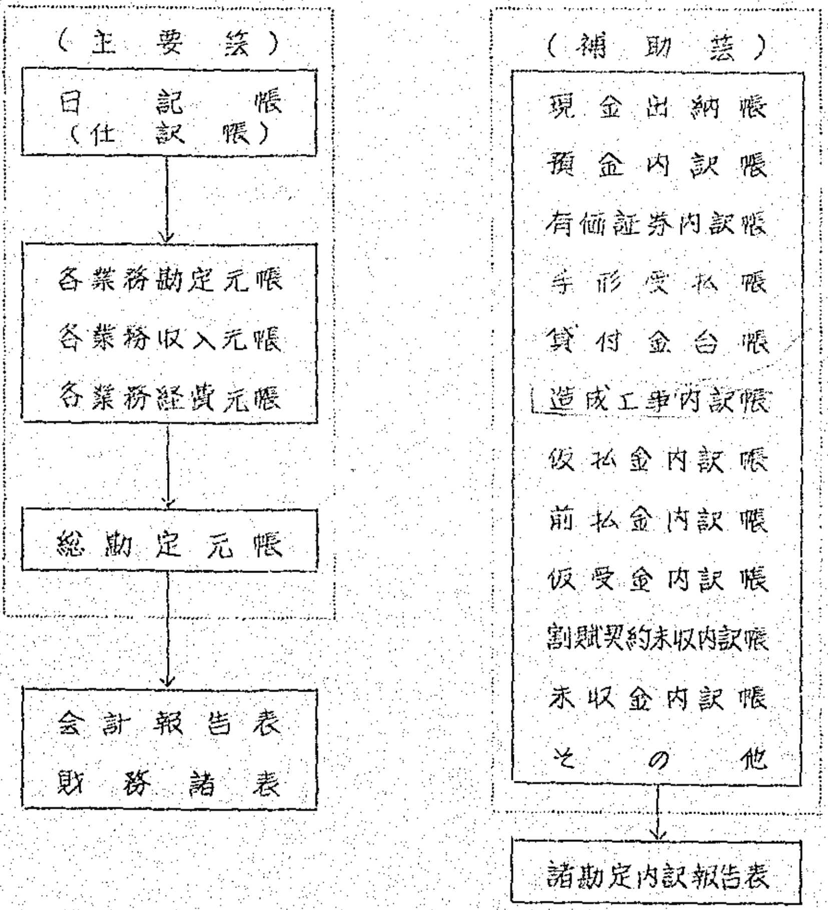
(イ) 補 助 簿

勘定元帳の一勘定口座即ち一勘定科目、たとえば現金、預金、貸付金、造成工事支出金、仮払金、未払金、預り金等々の勘定科目を更にこまかく分解して、受払先別とか、融資先別とか、期日別とか、種類別とか、預り先別とか、預け先別とかに口座を分けて、勘定口座の内訳を詳しく記録する帳簿を補助簿という。

事業団の会計帳簿組織は、次に示す通りであり、総勘定元帳のほか各業務の勘定元帳の種類及び勘定口座の設定、記帳方法については、会計細則才35条以下の会計帳簿に関する

規定によらなければならない。なお、これらの記録にもとづく種々の会計報告表は、会計細則才３９条以下の会計報告表に関する規定によって作成しなければならない。

(ウ) 帳簿組織図表



4、勘定仕訳と記帳方法について

伝票を作成するにあたっては、先ず勘定科目の決定、即ち科目仕訳をしなければならない。事業団の業務形態は多岐にわたっているから、その取引の性質、目的を理解することが大切で

ある。若しこの判断を誤ると折角の業務会計制度も丼勘定と等しくなり、全く無意味となる危険がある。そこで仕訳のやり方、それをどのように、どの業務のどの勘定口座に記帳すればよいかを、次のような例題を使用して説明することとする。

(ア) 取引例題

1、政府より出資金8億円を受領し、A銀行に通知預金とした。

2、海協連より引継資産として現金100万円、ジープ1台100万円、倉庫300m²1棟300万円を承継した。

3、移住会社より引継資産として当座預金5億円、乗用自動車1台100万円、移住分譲地15億円、割賦分譲高1億円、貸付金9億円、現地法人出資金10億円、計40億100万円。負債として割賦契約高1億円、移住分譲代預り金1億円、長期借入金10億円、資本金30億円、計42億円を承継した。

4、政府より交付金7億円を受領し、A銀行に通知預金した。

5、道路補修用ブルトーザー1台500万円で購入契約し、手付金として100万円を小切手で支払った。

6、ブルトーザーが完納されたので残金400万円を小切手で支払った。

7、造成工事用資材を100万円購入し、代金を小切手で支払った上アルトパラナ事業所へ50万円相当額払出した。

8、渡航費貸付資金として政府より100万円現金にて借入、移住者Aに渡航費100万円を現金にて貸付けた。

9、移住者Aより渡航費貸付金の内、第1回償還分として、元金10万円、利息5,000円を受領した。

10、渡航費貸付資金借入金の内、元金10万円、利息5,000円を政府に納金した。

11、ミシオネス地区に移住地1万haを1千万円で購入し、小切手で支払った。

12、アルトパラナ移住地測量人夫賃として5万円支払った。

13、移住者Bに、アルトパラナ移住土地を1ロッテ40万円で割賦分譲契約を締結し、頭金として10万円を受領した。

14、移住者Cより37.9.1貸付けた長期事業資金の内8/31期償還分として元金10万円、利息1万円を受領し、利子所得税として6%徴収された。

15、移住者Aに対し事業資金として50万円貸付けた。期間3カ年、利率12%、1カ年据置、2カ年元利均等償還、延滞日歩5銭。

16、移住者Aより長期事業資金50万円に対する利息5万円を期日に受領し、利子所得税として6%徴収された。

17、8月分職員給料引当として当座預金500万円引出した。

18、8月分職員給料として500万円支払った。

19、アルトパラナ移住地分譲契約及び融資契約用務のため神戸への出張旅費として3万円を支払った。

20、職員住宅1棟(150m^2)500万円、事務所建物1棟、(200m^2)500万円、事務用ロッカー20個100万円にて購入し、小切手をもって支払った。

21. 交付金をもって購入した資産50万円、海協連より引継いだジープ10万円、倉庫20万円、移住会社より引継いだ自動車30万円、アルトパラナ所管のブルトーザー40万円、計150万円の減価償却を行なった。

(イ) 伝票作成例

前記(ア)項の取引例題を、所属業務科目及び計理科目に仕訳して伝票を作成すると次のようになる。

注1. 伝票作成例には取引先の記入と摘要の記入を省略したが、実際に起票の場合は、取引内容を簡明にまとめるよう留意のこと。

2. ○内の数字は取引例題の番号を示したものである。

① 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	命令出納役	支払先名又は収納先	命令出納役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(通知預金)			800.000,000	--------						
					--------		一般勘定	(資本金)			800.000.000
小計					収納済印	支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)							合票No. 金種 (現金支払)				
合計							合計				

② 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	命令出納役	支払先名又は収納先	命令出納役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(車輌運搬具)	1	台	1.000.000	-------						
一般勘定	(倉 庫)	300 1	m^2 棟	3.000.000	-------						
					-------		一般勘定	(資本準備金)			5.000.000
小計				4.000,000	収納済印	支払済印	小計				5.000.000
合票No、金種 (現金収納)				1.000.000			合票No. 金種.(現金支払)				
合計				¥5.000.000			合計				¥5.000.000

(5) 振替伝票

(係)主務課印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部担当課次長	支部担当部長	命令出納役	支払先名又は収納先	命令出納役	支部担当部長	支部担当課次長	担当主任課長代理	記入済補助簿印	(係)主務課印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(当座預金)			500.000.000	-------					
旧勘定	(車輌運搬具)	1	台	1.000.000	--------					
〃	(アルトパラナ移住分譲地)	5000	ha	1.500.000.000	--------					
〃	(アルトパラナ移住地割賦分譲高)			100.000.000	--------					
〃	(短期現地貸付金)	10	件	150.000.000	--------					
〃	(短期農工企業貸付金)	10	件	150.000.000	--------					
〃	(沿岸漁業者漁業貸付金)	10	件	150.000.000	--------					
〃	(長期現地貸付金)	10	件	150.000.000	--------					
〃	(長期渡航前貸付金)	10	件	150.000.000	--------					
〃	(長期農工企業貸付金)	10	件	150.000.000	-------					
〃	(ジャミック出資金)			500.000.000	-------					
〃	(イジュウシンコー出資金)			500.000.000	-------					
〃	(前期繰越損益金)			199.000.000	-------					
					-------	旧勘定	(資本金)			3.000.000.000
					-------	〃	(アルトパラナ移住地割賦契約高)			100.000.000
					-------	〃	(アルトパラナ移住地分譲代金収納高)			100.000.000
					-------	〃	(アメリカ銀行外貨借入金)			300.000.000
					-------	〃	(チェスマンハッタン銀行外貨借入金)			300.000.000
					-------	〃	(ファストナショナル銀行外貨借入金)			400.000.000
旧勘定	(新勘定へ貸)			500.000.000	-------	一般勘定	(旧勘定より借)			500.000.000

小計		収納済印	支払済印	小計	
合票No. 金種 (現金収納)				合票No. 金種 (現金収納)	
合計				合計	

④ 振替伝票

主務部(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(通知預金)			700,000,000	------						
					------		一般収入	(交付金)			700,000,000
小計					収納済印	支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)							合票No. 金種 (現金支払)				
合計							合計				

⑤ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(前払金)			1,000,000	-------						
					-------		一般勘定	(当座預金)			1,000,000
小計					収納済印	支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)							合票No. 金種 (現金支払)				
合計							合計				

⑥ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	支払先名又は収納先	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(車輌運搬具)	1	台	5.000,000	- - - - - - -					
					- - - - - -	一般勘定	(前払金)			1.000.000
					- - - - - -	一般勘定	(当座預金)			4000,000
小計					収納済印 / 支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)						合票No. 金種 (現金支払)				
合計						合計				

⑦ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	支払先名又は収納先	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
旧勘定	(貯蔵品)			1.000.000	- - - - - - -					
					- - - - - -	一般勘定	(当座預金)			1.000.000
一般勘定	(旧勘定へ貸)			1.000.000	- - - - - -	旧勘定	(新勘定より借)			1.000.000
旧勘定	(アルトパラナ移住地工事費)			500.000	- - - - - -	旧勘定	(貯蔵品)			500.000
小計					収納済印 / 支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)						合票No. 金種 (現金支払)				
合計						合計				

⑧ 収納伝票

収納済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	収納先名					
業務科目	計理科目(項)	摘要		数量	単位	金額
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付資金借入金)	----------------				1.000.000

⑧ 支払伝票

支払済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	支払先名					
業務科目	計理科目(項)	摘要		数量	単位	金額
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金)	------------		1	件	1.000.000

⑨ 収納伝票

収納済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	収納先名					
業務科目	計理科目(項)	摘要		数量	単位	金額
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金回収金)	------------				100,000
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金利息預り金)	------------				5,000

⑩ 支払伝票

支払済印	出納命令役	担当部長 支部長	担当課長 支部次長	課長代理 担当主任	補助簿 記入済印	主務課 (係)　印
	支払先名					

業務科目	計理科目(項)	摘要	数量	単位	金額
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金回収金)	---------- ---			100,000
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金利息預り金)	----------------			5,000

⑩ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
渡航費貸付勘定	(渡航費貸付資金借入金)			100,000	-------	渡航費貸付勘定	(渡航費貸付金)			100,000
小計					収納済印　支払済印	小計				
合票No.　金種　(現金収納)						合票No.　金種　(現金支払)				
合計						合計				

⑪ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
入植助成勘定	(ミシオネス移住地土地費)	10.000	ha	10.000.000	- - - - - -					
					- - - - - - -	一般勘定	(当座預金)			10.000.000
小計					収納済印 / 支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)						合票No. 金種 (現金支払)				
合計						合計				

⑫ 支払伝票

支払済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	支払先名					

業務科目	計理科目(項)	摘要	数量	単位	金額
旧勘定	(アルトパラナ移住地工事費)	- - - - - - - - - - - -			50,000

⑫ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	命令役出納	支払先名又は収納先	命令役出納	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	旧勘定へ貸			50.000	------	旧勘定	新勘定より借			50.000
小計					収納済印 / 支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)						合票No. 金種 (現金支払)				
合計						合計				

⑬ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	命令役出納	支払先名又は収納先	命令役出納	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
旧勘定	(アルトパラナ移住地分譲高)			400.000	-------	旧勘定	(アルトパラナ移住地割賦契約高)			400.000
旧勘定	(アルトパラナ移住地割賦契約高)			100.000	-------	旧勘定	(アルトパラナ移住分譲高)			100.000
旧勘定経費	(アルトパラナ移住地売上原価)			95.000	-------	旧勘定	(アルトパラナ移住分譲地)			95.000
					-------	旧勘定収入	(アルトパラナ移住地割賦売上)			100.000
旧勘定	(新勘定へ貸)			100.000	-------	一般勘定	(旧勘定より借)			100.000
小計				695.000	収納済印 / 支払済印	小計				795.000
合票No. 金種 (現金収納)				100.000		合票No. 金種 (現金支払)				
合計				¥795.000		合計				¥795.000

⑭ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要	業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
					------	旧勘定	(長期現地貸付金)			100.000
					------	旧勘定収入	(長期現地貸付金利息)			10.000
旧勘定経費	(利子配当所得税)			600	------					
旧勘定	(新勘定へ貸)			109.400	------	一般勘定	(旧勘定より借)			109.400
小計				110.000	収納済印 / 支払済印	小計				219.400
合票No、金種(現金収納)				109.400		合票No、金種(現金支払)				
合計				¥219.400		合計				¥219.400

⑮ 支払伝票

支払済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	支払先名					

業務科目	計理科目(項)	摘要	数量	単位	金額
融資勘定	(長期現地貸付金)	------------	1	件	500.000

⑯ 振替伝票

主務(係)課印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	出納命令役	支払先名又は収納先	出納命令役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務(係)課印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
					-------		融資収入	(長期現地貸付金利息)			50,000
融資経費	(利子配当所得税)			3,000	-------						
小計				3,000	収納済印	支出済印	小計				50,000
(現金収納)				47,000			(現金支払)				
合計				¥50,000			合計				¥50,000

⑰ 収納伝票

収納済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務(係)課印
	収納先名					

業務科目	計理科目(項)	摘要	数量	単位	金額
一般勘定	(当座預金)	8月分販員給与引当			5,000,000

⑱ 振替伝票

主務(係)課印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	出納命令役	支払先名又は収納先	出納命令役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務(係)課印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般経費	(販員給料)			5,000,000	-------						
					-------		一般勘定	(預り金)			250,000
小計				5,000,000	収納済印	支出済印	小計				250,000
(現金収納)							(現金支払)				4,750,000
合計				¥5,000,000			合計				¥5,000,000

⑲ 支払伝票

支払済印	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印
	支払先名					

業務科目	計理科目(項)	摘要	数量	単位	金額
一般経費	(内国出張旅費)	---- ---------			30.000

⑳ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	課長代理担当主任	担当課長支部次長	担当部長支部長	出納命令役	収納先又は支払先名	出納命令役	担当部長支部長	担当課長支部次長	課長代理担当主任	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(住宅)	1/150	棟 m²	5.000.000	------						
一般勘定	(事務所)	1/200	棟 m²	5.000.000	------						
一般勘定	(什器備品)	20	コ	1.000.000	------						
					------		一般勘定	(当座預金)			11.000.000
一般経費	(交付金資産引当費)			11.000.000	------		一般勘定	(交付金資産引当金)			11.000.000
小計					収納済印	支出済印	小計				
合票NO. 金種 (現金収納)							合票NO. 金種 (現金支払)				
合計							合計				

㉑ 振替伝票

主務課(係)印	補助簿記入済印	担当主任課長代理	支部次長担当課長	支部長担当部長	出納命令役	支払先名又は収納先	出納命令役	支部長担当部長	支部次長担当課長	担当主任課長代理	補助簿記入済印	主務課(係)印

業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額	摘要		業務科目	計理科目(項)	数量	単位	金額
一般勘定	(交付金財産引当金)			500,000	------		一般勘定	(住宅)			100,000
					------		一般勘定	(事務所)			200,000
					------		一般勘定	(車輌運搬具)			100,000
					------		一般勘定	(什器備品)			100,000
一般経費	(車輌運搬具減価償却費)			100,000	------		一般勘定	(車輌運搬具)			100,000
一般経費	(建物減価償却費)			200,000	------		一般勘定	(倉庫)			200,000
旧勘定経費	(車輌運搬具減価償却費)			300,000	------		旧勘定	(車輌運搬具)			300,000
旧勘定	(アルトパラナ移住地工事費)			400,000	------		旧勘定	(車輌運搬具)			400,000
小計					収納済印	支払済印	小計				
合票No. 金種 (現金収納)							合票No. 金種 (現金支払)				
合計							合計				

(ウ) 記　帳　例

前記（イ）項の伝票を、どのように、どの元帳に記入したらよいかについて説明する。先ず伝票を、その属する業務の勘定科目、収入科目又は経費科目の別に区分して、それぞれの日記帳を作成する。これらの日記帳の貸方又は借方の同一計理科目（款）の金額を集計して日計表を作成し、その日の取引伝票に脱漏はないかを確かめる。

次に伝票1行毎の摘要事項をそのまま、その属する勘定元帳、収入元帳又は経費元帳の計理科目（項）の口座に、伝票に記載された事項をそのまゝ記入する。次に、これらの項科目の属する款口座に、日記帳の款の金額を記入し、項科目の集計額と照合して、記入漏れの有無を確かめる。これらの記帳が済んだ後、日記帳の貸方又は借方の合計欄の金額を、その属する元帳の総貸借口座に貸借そのまゝ記入し、元帳の各款科目口座の集計額と照合する。

最後に、日記帳の款科目の金額を、総勘定元帳のそれぞれの属する業務科目口座の款の口座に記入し、各業務元帳の当該科目口座の金額と照合して、記帳の間違いや、記帳漏れの有無を再確認する。

この記帳方法の一例を示すと次の通りである。

例題No1～3

日記帳

業務科目（一般勘定）　　　　昭和38年7月15日

借方	計理科目（款・項）	貸方
1.301.000.000	現金預金	
1,000,000	（現金）	
500,000,000	（当座預金）	
800,000,000	（通知預金）	
1,000,000	車輛運搬具	
1,000,000	（車輛運搬具）	
3,000,000	建物	
3,000,000	（倉庫）	
	旧勘定より借	500,000,000
	（旧勘定より借）	500,000,000
	資本金	800,000,000
	（資本金）	800,000,000
	資本準備金	5,000,000
	（資本準備金）	5,000,000
1,305,000,000	合計	1,305,000,000

日　記　帳

業務科目（旧勘定）

借　方	計理科目（款・項）	貸　方
1,000,000	車輌運搬具	
1,000,000	（車輌運搬具）	
1,500,000,000	移住分譲地	
1,500,000,000	（アルトパラナ移住分譲地）	
100,000,000	割賦契約分譲高	
100,000,000	（アルトパラナ割賦分譲高）	
300,000,000	現地貸付金	
150,000,000	（長期現地貸付金）	
150,000,000	（短期現地貸付金）	
300,000,000	農工企業貸付金	
150,000,000	（長期農工企業貸付金）	
150,000,000	（短期農工企業貸付金）	
150,000,000	派遣労務者渡航費貸付金	
150,000,000	（派遣労務者渡航費貸付金）	
150,000,000	渡航前貸付金	
150,000,000	（長期渡航前貸付金）	
500,000,000	新勘定へ貸	
500,000,000	（新勘定へ貸）	
[illegible]	[illegible]	

借方	計理科目（款・項）	貸方
3.001.000.000	前葉より繰越	
1.000.000.000	現地法人出資金	
500.000.000	（ジャミック出資金）	
500.000.000	（イジュウシンコウ出資金）	
199.000.000	前期繰越損益金	
199.000.000	（前期繰越損益金）	
	割賦契約高	100.000.000
	（アルトパラナ移住地 割賦契約高）	100.000.000
	分譲代金収納金	100.000.000
	（アルトパラナ移住地 分譲代金収納金）	100.000.000
	長期借入金	1.000.000.000
	（アメリカ銀行 外貨長期借入金）	300.000.000
	（チェスマンハッタン銀行 外貨長期借入金）	300.000.000
	（ファーストナショナル銀行 外貨長期借入金）	400.000.000
	資本金	3.000.000.000
	（資本金）	3.000.000.000
4.200.000.000	合計	4.200.000.000

例題 No.4～10

日　記　帳

業務科目（一般収入）　　　　　　　　　　　　　　　　　　昭和38年7月16日

借　方	計理科目（款・項）	貸　方
	交付金	700.000.000
	（交付金）	700.000.000
	合計	700.000.000

日　記　帳

業務科目（一般勘定）

借　方	計理科目（款・項）	貸　方
701.105.000	現金預金	7.105.000
1.105.000	（現金）	1.105.000
	（当座預金）	6.000.000
700.000.000	（通知預金）	
1.000.000	前払金	1.000.000
1.000.000	（前払金）	1.000.000
5.000.000	車輌運搬具	
5.000.000	（車輌運搬具）	
1.000.000	旧勘定へ貸	
1.000.000	（旧勘定へ貸）	
708.105.000	合計	8.105.000

日　記　帳

業務科目（旧勘定）

借方	計理科目（款・項）	貸方
1.500.000	貯蔵品	500,000
1.000.000	（貯蔵品）	500,000
500.000	造成工事支出金	
500.000	（アルトパラナ移住地工事費）	
	新勘定より借	1,000.000
	（新勘定より借）	1.000.000
1.500.000	合計	1.500.000

日　記　帳

業務科目（渡航費貸付勘定）

借方	計理科目（款・項）	貸方
100.000	渡航費貸付資金借入金	1.000,000
100,000	（渡航費貸付資金借入金）	1.000.000
1,000,000	渡航費貸付金	100,000
1,000.000	（渡航費貸付金）	100.000
105,000	渡航費回収金	105.000
100.000	（渡航費貸付金回収金）	100.000
5,000	（渡航費貸付金利息預り金）	5.000
1,205.000	合計	1.205.000

例題 No.11〜16

日　記　帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　　　　　　昭和38年7月17日

借方	計理科目（款・項）	貸方
256.400	現金預金	10.550.000
256.400	（現　金）	550.000
	（当座預金）	10.000.000
50.000	旧勘定へ貸	
50.000	（旧勘定へ貸）	
	旧勘定より借	209.400
	（旧勘定より借）	209.400
306.400	合　計	10.759.400

日　記　帳

業務科目（入植地勘定）

借方	計理科目（款・項）	貸方
10.000.000	造成工事支出金	
10.000.000	（ミシオネス移住地土地費）	
10.000.000	合　計	

日　記　帳

業務科目（融資勘定）

借　方	計理科目 （款・項）	貸　方
500.000	現地貸付金	
500.000	（長期現地貸付金）	
500.000	合　計	

日　記　帳

業務科目（旧勘定）

借　方	計理科目 （款・項）	貸　方
50,000	造成工事支出金	
50,000	（アルトパラナ移住地工事費）	
400.000	割賦契約分譲高	100.000
400.000	（アルトパラナ移住地割賦分譲高）	100.000
100,000	割賦契約高	400,000
100,000	（アルトパラナ移住地割賦契約高）	400,000
	移住分譲地	95.000
	（アルトパラナ移住分譲地）	95,000
	現地貸付金	100,000
	（長期現地貸付金）	100.000
209,400	新勘定へ貸	
209.400	（新勘定へ貸）	
	新勘定より借	50.000
	（新勘定より借）	50.000
759.400	合　計	745.000

日　記　帳

業務科目（融資収入）

借　方	計理科目 （款・項）	貸　方
	現地貸付金利息	50,000
	（長期現地貸付金利息）	50.000
	合　　計	50.000

日　記　帳

業務科目（旧勘定収入）

借　方	計理科目 （款・項）	貸　方
	移住地売上	100,000
	（アルトパラナ移住地割賦売上）	100,000
	現地貸付金利息	10,000
	（長期現地貸付金利息）	10.000
	合　　計	110,000

日　記　帳

業務科目（融資経費）

借　方	計理科目 （款・項）	貸　方
3,000	利子配当所得税	
3.000	（利子配当所得税）	
3.000	合　　計	

日記帳

業務科目（旧勘定経費）

借方	計理科目（款・項）	貸方
95.000	移住地原価	
95,000	（アルトパラナ移住地売上原価）	
500	利子配当所得税	
600	（利子配当所得税）	
95.600	合計	

例題 No.17～21

日記帳

業務科目（一般勘定）　　　　昭和38年7月18日

借方	計理科目（款・項）	貸方
5.000,000	現金預金	20.780.000
5,000.000	（現金）	4.780.000
	（当座預金）	16,000.000
10.000.000	建物	500.000
5,000.000	（住宅）	100.000
5.000.000	（事務所）	200,000
	（倉庫）	200.000
	車輌運搬具	200,000
	（車輌運搬具）	200.000
1.000.000	什器備品	100.000
1.000.000	（什器備品）	100,000
	預り金	250.000
	（預り金）	250,000
500,000	交付金資産引当金	11.000.000
500.000	（交付金資産引当金）	11.000.000
16.500,000	合計	32.830.000

日　記　帳

業務科目（旧勘定）

借　方	計理科目（款・項）	貸　方
400,000	造成工事支出金	
400,000	（アルトパラナ移住地工事費）	
	車輌運搬具	700,000
	（車輌運搬具）	700,000
400,000	合　計	700,000

日　記　帳

業務科目（一般経費）

借　方	計理科目（款・項）	貸　方
5,000,000	給　料	
5,000,000	（職員給料）	
200,000	建物減価償却費	
200,000	（建物減価償却費）	
100,000	車輌運搬具減価償却費	
100,000	（車輌運搬具減価償却費）	
11,000,000	交付金資産引当費	
11,000,000	（交付金資産引当費）	
30,000	内国旅費	
30,000	（内国出張旅費）	
16,330,000	合　計	

日　　記　　帳

業務科目（旧勘定経費）

借　　方	計理科目（款・項）	貸　　方
300,000	車輌運搬具減価償却費	
300,000	（車輌運搬具減価償却費）	
300,000	合　　計	

一般勘定元帳

計理科目（現金）

昭和38年	摘要	借方 数量	借方 金額	貸方 数量	貸方 金額	借又貸	差引残高 数量	差引残高 金額	示達予算額	予算残額
7.15			1,000,000			借		1,000,000		
16			1,000,000							
〃					1,000,000					
〃			1,000,000							
〃					1,000,000					
〃			5,000							
〃					5,000	〃		1,000,000		
17					50,000					
〃			100,000							
〃			109,400							
〃					500,000					
〃			47,000			〃		706,400		
18			5,000,000							
〃					4,750,000					
〃					30,000	〃		926,400		

一般勘定元帳

計理科目（当座預金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.15			500.000.000			借		500,000,000		
16					1,000.000					
〃					4.000.000					
〃					1.000.000	〃		494,000,000		
17					10.000.000			484,000,000		
18					5.000.000					
〃					11.000.000	〃		468,000,000		

一般勘定元帳

計理科目（通知預金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.15			800,000,000			借		800,000,000		
16			700,000,000			〃		1,500,000,000		

一般勘定元帳

計理科目（前払金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.16			1,000,000							
〃					1,000,000			0		

一般勘定元帳

計理科目（住宅）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.18		1棟 150m²	5,000,000							
〃					100,000	借		4,900,000		

一般勘定元帳

計理科目（事務所）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.15		1棟 200㎡	5,000,000							
〃					200,000	借	1棟 200㎡	4,800,000		

一般勘定元帳

計理科目（倉庫）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.15		1棟 300㎡	3.000.000			借	1棟 300㎡	3.000.000		
18					200.000	〃	1棟 300㎡	2.800.000		

一般勘定元帳

計理科目（什器備品）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.18		20個	1.000.000							
〃					100.000	借	20個	900.000		

一般勘定元帳

計理科目（車輌運搬具）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.15		1台	1.000.000			借	1台	1.000.000		
16		1台	5.000.000			〃	2台	6.000.000		
18					100.000					
〃					100.000	〃	2台	5.800.000		

一般勘定元帳

計理科目（預り金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 18					250.000	貸		250.000		

一般勘定元帳

計理科目（旧勘定より借）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					500,000,000	貸		500,000,000		
17					100,000					
〃					109,400	〃		500,209,400		

一般勘定元帳

計理科目（旧勘定へ貸）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16			1,000,000			借		1,000,000		
17			50,000			〃		1,050,000		
18			1,000,000			〃		2,050,000		

一般勘定元帳

計理科目（交付金資産引当金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 18					11,000,000					
〃			500,000			貸		10,500,000		

一般勘定元帳

計理科目（資本金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					500,000,000	貸		800,000,000		

一般勘定元帳

計理科目（資本準備金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					5,000,000	貸		5,000,000		

渡航費貸付勘定元帳

計理科目（渡航費貸付資金借入金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16				1件	1,000,000	貸				
〃			100,000			〃	1件	900,000		

渡航費貸付勘定元帳

計理科目（渡航費貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16		1件	1,000,000							
〃					100,000	貸	1件	900,000		

渡航費貸付勘定元帳

計理科目（渡航費貸付金回収金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.16					100,000					
〃			100.000					0		

渡航費貸付勘定元帳

計理科目（渡航費貸付金利息預り金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.16					5,000					
〃			5.000					0		

入植地勘定元帳

計理科目（ミシオネス移住地土地費）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.17			10,000,000			借		10,000,000		

融資勘定元帳

計理科目（長期現地貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7.17		1件	500,000			借	1件	500,000		

旧勘定元帳

計理科目（貯蔵品）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16			1,000,000							
〃					500,000	借		500,000		

旧勘定元帳

計理科目（アルトパラナ分譲地）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		ha 50,000	1,500,000,000			借	ha 50,000	1,500,000,000		
17					95,000	〃		1,497,905,000		

旧勘定元帳

計理科目（アルトパラナ移住地割賦分譲高）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15			100,000,000			借		100,000,000		
17			400,000							
〃					100,000	〃		100,300,000		

旧勘定元帳

計理科目（アルトパラナ移住地工事費）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16			500,000			借		500,000		
17			50,000			〃		550,000		
18			400,000			〃		750,000		

旧勘定元帳

計理科目（短期現地貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150,000,000			借	10件	150,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（短期農工企業貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150,000,000			借	10件	150,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（派遣労務者渡航費貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150,000,000			借	10件	150,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（長期現地貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150,000,000			借	10件	150,000,000		
17					100,000	〃	10件	149,900,000		

旧勘定元帳

計理科目（長期渡航前貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150,000,000			借	10件	150,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（長期農工企業貸付金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		10件	150.000.000			借	10件	150.000.000		

旧勘定元帳

計理科目（車輌運搬具）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15		1台	1.000.000			借	1台	1.000.000		
18					300.000					
〃					400.000	〃	1台	300.000		

旧勘定元帳

計理科目（ジャミック出資金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15			500.000.000			借		500.000.000		

旧勘定元帳

計理科目（イジュウシンコウ出資金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15			500.000.000			借		500.000.000		

旧勘定元帳

計理科目（アルトパラナ移住地割賦契約高）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					100,000,000	貸		100,000,000		
17					400,000					
〃			100,000			〃		100,300,000		

旧勘定元帳

計理科目（アルトパラナ移住地分譲代金預り金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					100,000,000	貸		100,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（アメリカ銀行外貨長期借入金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					300,000,000	貸		300,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（チェスマンハッタン銀行外貨長期借入金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					300,000,000	貸		300,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（ファーストナショナル銀行外貨長期借入金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					400,000,000	貸		400,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（新勘定へ貸）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15			500,000,000			借		500,000,000		
17			100,000							
〃			107,400			〃		500,207,400		

旧勘定元帳

計理科目（新勘定より借）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 16					1,000,000	貸		1,000,000		
17					50,000	〃		1,050,000		
18					1,000,000	〃		2,050,000		

旧勘定元帳

計理科目（資本金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15					3,000,000,000	貸		3,000,000,000		

旧勘定元帳

計理科目（前期繰越損益金）

昭和38年	摘要	借方		貸方		借又貸	差引残高		示達予算額	予算残額
		数量	金額	数量	金額		数量	金額		
7. 15			199,000,000			借		199,000,000		

一般収入元帳

計理科目（交付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	16			700,000,000	700,000,000		

融資収入元帳

計理科目（長期現地貸付金利息）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17			50,000	50,000		

旧勘定収入元帳

計理科目（アルトパラナ移住地割賦売上）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17			100,000	100,000		

旧勘定収入元帳

計理科目（長期現地貸付金利息）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17			10,000	10,000		

一般経費元帳

計理科目（職員給料）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		5,000,000		5,000,000		

一般経費元帳

計理科目（交付金資産引当費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		11,000,000		11,000,000		

一般経費元帳

計理科目（車輛運搬具減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		100,000		100,000		

一般経費元帳

計理科目（建物減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		200,000		200,000		

一般経費元帳

計理科目（内国出張旅費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		30,000		30,000		

融資経費元帳

計理科目（利子配当所得税）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17		3,000		3,000		

旧勘定経費元帳

計理科目（アルトパラナ移住地売上原価）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17		95.000		95.000		

旧勘定経費元帳

計理科目（車輛運搬具減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	18		300.000		300.000		

旧勘定経費元帳

計理科目（利子配当所得税）

昭和38年		摘要	借方	貸方	差引残高	示達予算額	予算残額
7	17		600		600		

総勘定元帳

業務科目（一般勘定）　　　計理科目（現金預金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15	日記帳より	1.301.000.000		借	1.301.000.000
〃	16	〃	701.105.000	7.105.000	〃	1.995.000.000
〃	17	〃	256.400	10.550.000	〃	1.984.706.400
〃	18	〃	5.000.000	20.780.000	〃	1.968.926.400

総勘定元帳

業務科目（一般勘定）　　　　計理科目（前払金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	16		1.000.000	1.000.000		0

総勘定元帳

業務科目（一般勘定）　　　　計理科目（建物）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		3.000.000		借	3.000.000
	18		10.000.000	500.000	〃	12.500.000

総勘定元帳

業務科目（一般勘定）　　　　計理科目（車輌運搬具）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		1.000.000		借	1.000.000
	16		5.000.000		〃	6.000.000
	18			200.000	〃	5.800.000

総勘定元帳

業務科目（一般勘定）　　　　計理科目（什器備品）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		1.000.000	100.000	借	900.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　計理科目（旧勘定へ貸）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	16		1.000,000		借	1,000.000
	17		50.000		〃	1.050.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　計理科目（預り金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18			250.000	貸	250.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　計理科目（交付金貸付引当金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		500.000	11.000.000	貸	10.500.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　計理科目（旧勘定より借）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			500.000.000	貸	500.000.000
	17			209.400	〃	500.209.400

総 勘 定 元 帳

業務科目（一般勘定）　　　　　　　計理科目（資本金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			800.000.000	貸	800.000.000

総　勘　定　元　帳

業務科目（一般勘定）　　　　計理科目（資本準備金）

昭和38年		摘　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	15			5,000,000	貸	5,000,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（渡航費貸付勘定）　　　　計理科目（渡航費貸付金）

昭和38年		摘　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	16		1,000,000	100,000	借	900,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（渡航費貸付勘定）　　　　計理科目（渡航費貸付資金借入金）

昭和38年		摘　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	16		100,000	1,000,000	貸	900,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（渡航費貸付勘定）　　　　計理科目（渡航費回収金）

昭和38年		摘　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	16		105,000	105,000		0

総　勘　定　元　帳

業務科目（入植地勘定）　　　　計理科目（造成工事支出金）

昭和38年		摘　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	17		10,000,000		借	10,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（融資勘定）　　　　　　計理科目（現地貸付金）

昭和38年		摘　　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	17		500.000		借	500.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　　　計理科目（貯 蔵 品）

昭和38年		摘　　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	16		1.000.000	500.000	借	500.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　　　計理科目（移住分譲地）

昭和38年		摘　　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	15		1.500.000.000		借	1.500.000.000
	17			95.000	〃	1.499.905.000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　　　計理科目（割賦契約分譲高）

昭和38年		摘　　要	借　方	貸　方	借又貸	差引残高
7	15		100.000.000		借	100.000.000
	17		400.000	100.000	〃	100.300.000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（造成工事貸出金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	16		500,000		借	500,000
	17		50,000		〃	550,000
	18		400,000		〃	950,000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（沖縄労務者渡航費貸付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		150,000,000		借	150,000,000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（渡航前貸付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		150,000,000		借	150,000,000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（現地貸付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		300,000,000		借	300,000,000
	17			100,000	〃	299,900,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（農工企業貸付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		300,000,000		借	300,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（車輌運搬具）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		1,000,000		借	1,000,000
	18			700,000	〃	300,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（新勘定へ貸）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		500,000,000		借	500,000,000
	17		209,400		〃	500,209,400

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（現地法人出資金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		1,000,000,000		借	1,000,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（割賦契約高）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			100,000,000	貸	100,000,000
	17		100,000	400,000	〃	100,300,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（分譲代金収納金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			100,000,000	貸	100,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（長期借入金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			1,000,000,000	貸	1,000,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（新勘定より借）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	16			1,000,000	貸	1,000,000
	17			50,000	〃	1,050,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（資 本 金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15			3,000,000,000	貸	3,000,000,000

総 勘 定 元 帳

業務科目（旧勘定）　　　　計理科目（前期繰越損益金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	15		199,000,000		借	199,000,000

総勘定元帳

業務科目（一般収入）　　　　計理科目（交付金）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	16			700.000.000	貸	700.000.000

総勘定元帳

業務科目（融資収入）　　　　計理科目（現地貸付金利息）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17			50.000	貸	50.000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定収入）　　　　計理科目（移住地売上）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17			100,000	貸	100,000

総勘定元帳

業務科目（旧勘定収入）　　　　計理科目（現地貸付金利息）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17			10.000	貸	10.000

総勘定元帳

業務科目（一般経費）　　　　計理科目（給料）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		5,000.000		借	5,000.000

総　勘　定　元　帳

業務科目（一般経費）　　　　計理科目（交付金賞与引当費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		11,000,000		借	11,000,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（一般経費）　　　　計理科目（建物減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		200,000		借	200,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（一般経費）　　　　計理科目（車輛運搬具減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		100,000		借	100,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（一般経費）　　　　計理科目（内国旅費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		30,000		借	30,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（融資経費）　　　　計理科目（利子配当所得税）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17		3,000		借	3,000

総　勘　定　元　帳

業務科目（旧勘定経費）　　　　　　　　計理科目（利子配当所得税）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17		600		借	600

総　勘　定　元　帳

業務科目（旧勘定経費）　　　　　　　　計理科目（移住地原価）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	17		95.000		借	95.000

総　勘　定　元　帳

業務科目（旧勘定経費）　　　　　　　　計理科目（車輌運搬具減価償却費）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
7	18		300.000		借	300.000

総勘定元帳

計理科目（総勘定貸借）

昭和38年		摘要	借方	貸方	借/貸	差引残高
7	15	（一般勘定）	1.305.000.000	1.305.000.000		
	〃	（旧勘定）	4.200.000.000	4.200.000.000		
		当日計	5.505.000.000	5.505.000.000		
		累計	5.505.000.000	5.505.000.000		
7	16	（一般勘定）	708.105.000	8.105.000		
	〃	（渡航費貸付勘定）	1.205.000	1.205.000		
	〃	（旧勘定）	1.500.000	1.500.000		
	〃	（一般収入）		700.000.000		
		当日計	710.810.000	710.810.000		
		累計	6.215.810.000	6.215.810.000		
7	17	（一般勘定）	306.400	10.759.400		
	〃	（入植地勘定）	10.000.000			
	〃	（融資勘定）	500.000			
	〃	（旧勘定）	759.400	745.000		
	〃	（融資収入）		50.000		
	〃	（旧勘定収入）		110.000		
	〃	（融資経費）	3.000			
	〃	（旧勘定経費）	95.600			
		当日計	11.664.400	11.664.400		
		累計	6.227.474.400	6.227.474.400		
		次葉へ繰越	6.227.474.400	6.227.474.400		

昭和38年		摘要	借方	貸方	借又貸	差引残高
		前頁より繰越	6,227,474,400	6,227,474,400		
7	18	（一般勘定）	16,500,000	32,830,000		
	〃	（旧勘定）	400,000	700,000		
	〃	（一般経費）	16,330,000			
	〃	（旧勘定経費）	300,000			
		当日計	33,530,000	33,530,000		
		累計	6,261,004,400	6,261,004,400		

合計残高試算表

7月分　　　　昭和38年7月31日　　　　××支部

借方				業務科目	貸方			
前月末累計	本月分	本月末累計	残高		残高	本月末累計	本月分	前月末累計
	6,044,470,800	6,044,470,800	6,002,640,800	（資産の部）		41,830,000	41,830,000	
	2,029,411,400	2,029,411,400	1,989,176,400	一般勘定		40,235,000	40,235,000	
	1,000,000	1,000,000	900,000	渡航費貸付勘定		100,000	100,000	
	10,000,000	10,000,000	10,000,000	入植地勘定				
	500,000	500,000	500,000	融資勘定				
	4,003,559,400	4,003,559,400	4,002,064,400	旧勘定		1,495,000	1,495,000	
	805,000	805,000		（負債の部）	1,713,209,400	1,714,014,400	1,714,014,400	
	500,000	500,000		一般勘定	510,959,400	511,459,400	511,459,400	
	205,000	205,000		渡航費貸付勘定	900,000	1,105,000	1,105,000	
	100,000	100,000		旧勘定	1,201,350,000	1,201,450,000	1,201,450,000	
	199,000,000	199,000,000	199,000,000	（資本の部）	3,805,000,000	3,805,000,000	3,805,000,000	
				一般勘定	805,000,000	805,000,000	805,000,000	
	199,000,000	199,000,000	199,000,000	旧勘定	3,000,000,000	3,000,000,000	3,000,000,000	
				（利益の部）	700,160,000	700,160,000	700,160,000	
				一般収入	700,000,000	700,000,000	700,000,000	

借方				業務科目	貸方			
前月末累計	本月分	本月末累計	残高		残高	本月末累計	本月分	前月末累計
				融資収入	50,000	50,000	50,000	
				旧勘定収入	110,000	110,000	110,000	
	16,728,600	16,728,600	16,728,600	（損失の部）				
	16,330,000	16,330,000	16,330,000	一般経費				
	3,000	3,000	3,000	融資経費				
	395,600	395,600	395,600	旧勘定経費				
	6,261,004,400	6,261,004,400	6,218,369,400	総計	6,218,369,400	6,261,004,400	6,261,004,400	
				（当期純益）	(683,431,400)			

Ⅲ. 結　　語

会計事務は、地味ではあるが企業全体を把握するための最も重要な仕事であることを自覚し、その担当者は常に証憑書、伝票、帳簿等の取り扱いについて細心の注意を払わなければならない。また、会計事務は、日々の取引内容を明確に迅速に所定の会計帳簿に記録し、誰が見てもすぐに判るように整然と記入して、後日照合、確認が容易であるように、年号、日付、整理した科目等を確実に記入しておくことが大切である。従って若し誤記をした場合でも、元の記録がはっきりと判るように細く朱線を引いて、訂正者は必ず捺印して責任を明らかにしておくように心懸けねばならない。なお、帳簿記録の途中に空白の行を残すような記帳は絶対に避けなければならない。即ち、後に不正記入の余地を残すこととなり、帳簿の証拠力を弱める結果ともなるからである。

さらに、現金の取り扱いについても、収納した現金はすべて預金とし、支払はすべて小切手を用うることとして、金銭の受払を銀行という第3者の出納記録を通じて行うよう配慮するとともに、原始記録である証憑書はもとより伝票、帳簿等は、一定の順序により丁寧に保管し、何時でも監査を受け得る状態にしておくことが肝要である。